

Updated: January 2012

(データ更新日：2012年1月23日)

11月 EU、21ヵ月ぶりに「嵐」

EU turned “Stormy” in November for the first time in 21months.

【要約/Summary】

11月の世界景気インデックスは-5.0で先月より2.4ポイント低下し「雨」となった。世界景気は3ヵ月連続の「雨」となり、11月はすべての国・地域で数値が低下した。なかでもEUが5ヵ月連続の「雨」の後、11月に「嵐」となった。12月の速報値では米国が-1.1、中国は1.3で両国とも7ヵ月連続の「曇り」となった。

The JCER World Business Climate Index stood at -5.0 as “Rainy” in November for the third consecutive month. Indices for all areas declined. In particular, the EU index, which was “Rainy” for five consecutive months, “Stormy” in November. The preliminary estimates for December show that the index for the U.S and China remain unchanged as “Cloudy” for the seventh straight month.

●EU

先月から4.9ポイント低下し-11.3。5ヵ月連続の「雨」の後、「嵐」となった。EUが「嵐」になるのは2010年2月以来、21ヵ月ぶり。生産、小売、輸入とすべての指数が低下した。EU景気を下支えているドイツの生産が4ヵ月連続で低下したことが影響している。

●タイ

洪水の影響で生産指数が大幅に低下し、数値が-2.9の「雨」から11月は-15.7の「嵐」となった(図3-B、会員限定ページ参照)。11月の生産指数は-56.4で、リーマンショック時よりも悪い、本指標作成以来の最低値となった。

●台湾

2010年3月から落ち込みが続き、11月の数値は-8.5の「嵐」となった(図3-A、会員限定ページ参照)。本指標でも度々ふれているとおり、台湾は世界への電子部品供給拠点のため、指数低下は世界のデジタル景気変調を示す。半導体受託生産で世界首位の台湾積体電路製造(TSMC)の2011年10~12月期決算は、最終利益が全年同期比23%減と落ち込んだ。

●米国、中国

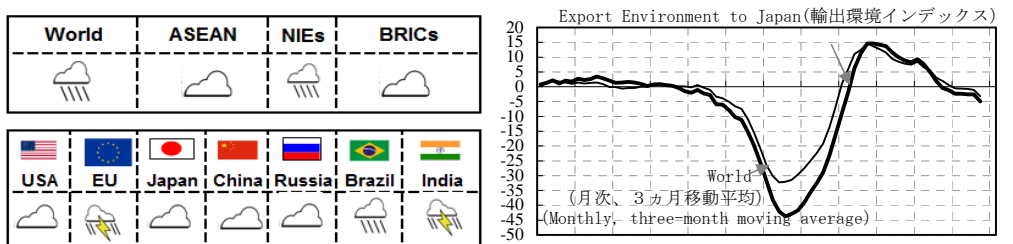
11月の値、12月の速報値ともに7ヵ月連続の「曇り」となった。欧州危機を受けてか、引き続き米国と中国の景気動向が似通ってきている。中国では住宅価格の下落が始まっており、今後の景気を下押しする懸念がある。

●日本

先月と同じく「曇り」だが、輸入、生産、小売と全指数が再び低下している。欧州危機やタイの洪水の影響で外需が減速傾向となったことが要因と見られる。

(参考) 月次GDP: <http://www.jcer.or.jp/research/gdp/index.html>

世界景気インデックス (11月の天気図)
World Business Climate Index (weather map, November)



【注1】 天気はインデックスの最新値を上記の定義で置き換えた。【注2】 一部速報値を含む。【注3】 このインデックスは各国の輸入、生産、商業販売などの前年比伸び率を合成した指標。過去の平均的な水準をゼロとし、伸び率の「標準偏差」を10ポイントに置き換え、好不調を判断する目安としている。

Notes: Weather conditions are defined as above. A part of this index has preliminary results. The index assesses economic indicator growth rates (year-on-year). Against a base (zero) of the average growth rate in the past, it translates each unit of standard deviation into 10 index points. The base indices are imports, production and retail sales.